

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2001204777
PUBLICATION DATE : 31-07-01

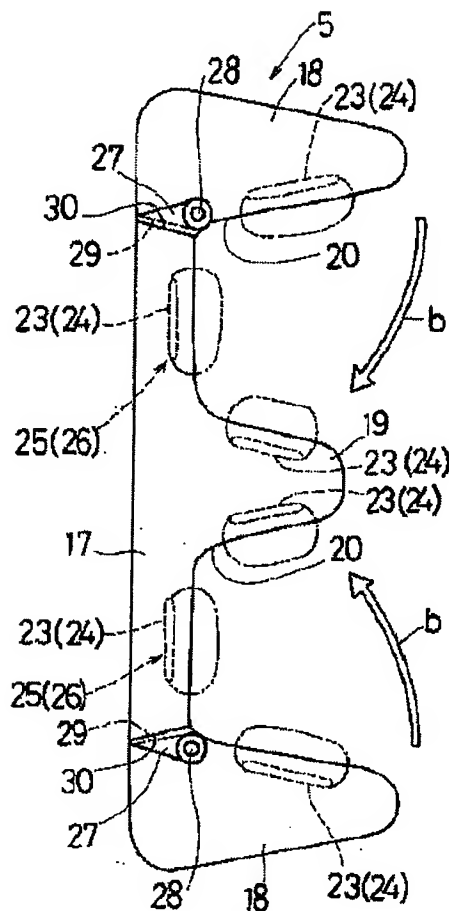
APPLICATION DATE : 27-01-00
APPLICATION NUMBER : 2000019018

APPLICANT : FAMILY KK;

INVENTOR : FUJII YASUO;

INT.CL. : A61H 7/00 A61H 15/00

TITLE : MASSAGE MACHINE



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a massage machine from becoming bulky when it is stored or carried by compactly folding a leg support member.

SOLUTION: This machine is provided with the leg support member 5 having a pair of left and right sidewall parts 18 and the sidewall parts 18 are constituted so as to be freely foldable inward in the left and right direction.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-204777

(P2001-204777A)

(43)公開日 平成13年7月31日(2001.7.31)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマト* (参考)
A 6 1 H 7/00	3 2 2	A 6 1 H 7/00	3 2 2 D 4 C 1 0 0
	3 2 3		3 2 3 E
15/00	3 5 0	15/00	3 5 0 B

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-19018(P2000-19018)

(22)出願日 平成12年1月27日(2000.1.27)

(71)出願人 000112406

ファミリー株式会社

大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目17番26号

(72)発明者 稲田 二千武

大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目17番26号 ファミリー株式会社内

(72)発明者 藤井 康夫

大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目17番26号 ファミリー株式会社内

(74)代理人 100061745

弁理士 安田 敏雄

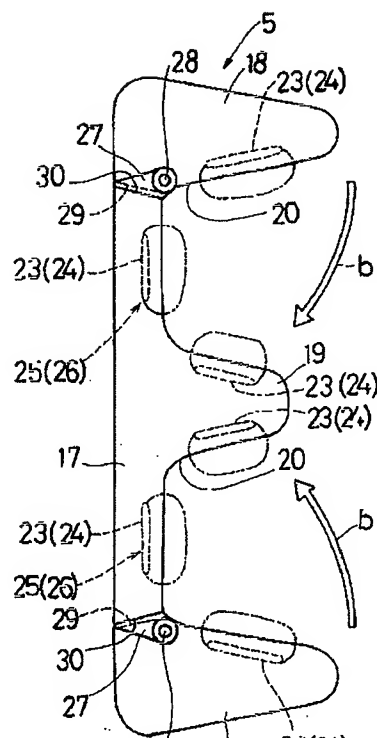
Fターム(参考) 4C100 AD01 AD23 CA09 CA14 DA05
DA10

(54)【発明の名称】 マッサージ機

(57)【要約】

【課題】 足支持部材をコンパクトに折り畳んで収納や運搬の際や不使用時の際等に嵩張らないようにする。

【解決手段】 左右一対の側壁部18を有する足支持部材5を備えたマッサージ機において、前記左右一対の側壁部18が、左右方向内方に折り畳み自在に構成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 左右一对の側壁部(18)を有する足支持部材(5)を備えたマッサージ機において、前記左右一对の側壁部(18)が、左右方向内方に折り畳み自在に構成されていることを特徴とするマッサージ機。

【請求項2】 両足を保持する足支持部材(5)を備え、該足支持部材(5)は、底壁部(17)と、底壁部(17)の左右両側から突出した左右一对の側壁部(18)と、該一对の側壁部(18)間に位置するように底壁部(17)の左右中央側から突出した中央壁部(19)とを有し、前記左右一对の側壁部(18)と中央壁部(19)との間が、足の片方をそれぞれ嵌合保持する一对の足保持溝(20)とされ、足保持溝(20)に嵌合保持された足を、空気の給排により膨張収縮して押圧するエアセル(23, 24)が具備されたマッサージ機において、前記左右一对の側壁部(18)が、左右方向内方に折り畳み自在に構成されていることを特徴とするマッサージ機。

【請求項3】 左右一对の側壁部(18)が、左右方向内方に折り畳まれる折畳姿勢と、中央壁部(19)との間で一对の足保持溝(20)を形成するように底壁部(17)から突出する使用姿勢とに変更可能になるように、左右一对の側壁部(18)が回動自在に支持されていることを特徴とする請求項1又は2に記載のマッサージ機。

【請求項4】 前記エアセル(23, 24)の膨張によって、折畳姿勢にある左右一对の側壁部(18)を、使用姿勢に展開可能に構成されていることを特徴とする請求項2に記載のマッサージ機。

【請求項5】 前記左右一对の側壁部(18)を、折畳姿勢と使用姿勢とに移動させる駆動手段が設けられていることを特徴とする請求項1〜3のいずれかに記載のマッサージ機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、マッサージ機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のマッサージ機には、両足を嵌合保持する足支持部材(フットレスト)を備え、空気の給排により膨張収縮するエアセルによって、足支持部材に嵌合保持された足を、押圧によるマッサージをするようにしたものがあり、従来のこの種のマッサージ機の足支持部材は、底壁部と、底壁部の左右両側から突出した左右一对の側壁部と、該一对の側壁部間に位置するように底壁部の左右中央側から突出した中央壁部とを有し、前記左右一对の側壁部と中央壁部との間に、足の片方をそれぞれ嵌合保持する足保持溝が形成され、足保持溝に嵌合

保持された足を、空気の給排により膨張収縮するエアセルによって、押圧するようにしたものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の場合、足支持部材の左右一对の側壁部が底壁部の左右両側から大きく突出しているため、運搬や収納時又は不使用時等に足支持部材が嵩張り不便であった。本発明は上記問題点に鑑み、足支持部材をコンパクトに折り畳んで収納や運搬の際や不使用時の際等に嵩張らないようにしたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決する本発明の技術手段は、左右一对の側壁部18を有する足支持部材5を備えたマッサージ機において、前記左右一对の側壁部18が、左右方向内方に折り畳み自在に構成されている点にある。本発明の他の技術手段は、両足を保持する足支持部材5を備え、該足支持部材5は、底壁部17と、底壁部17の左右両側から突出した左右一对の側壁部18と、該一对の側壁部18間に位置するように底壁部17の左右中央側から突出した中央壁部19とを有し、前記左右一对の側壁部18と中央壁部19との間が、足の片方をそれぞれ嵌合保持する一对の足保持溝20とされ、足保持溝20に嵌合保持された足を、空気の給排により膨張収縮して押圧するエアセル23, 24が具備されたマッサージ機において、前記左右一对の側壁部18が、左右方向内方に折り畳み自在に構成されている点にある。

【0005】本発明の他の技術手段は、左右一对の側壁部18が、左右方向内方に折り畳まれる折畳姿勢と、中央壁部19との間で一对の足保持溝20を形成するように底壁部17から突出する使用姿勢とに変更可能になるように、左右一对の側壁部18が回動自在に支持されている点にある。本発明の他の技術手段は、前記エアセル23, 24の膨張によって、折畳姿勢にある左右一对の側壁部18を、使用姿勢に展開可能に構成されている点にある。

【0006】本発明の他の技術手段は、前記左右一对の側壁部18を、折畳姿勢と使用姿勢とに移動させる駆動手段が設けられている点にある。

【0007】

【実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基いて説明する。図3は、椅子型のマッサージ機1の全体構成を示している。図3において、マッサージ機1は、脚体2により支持された座部3と、座部3の後部に設けられた背凭れ部4と、座部3の前部下方に設けられた足支持部材(フットレスト)5と、座部3の左右両側に設けられたひじ掛け部6とを具備している。背凭れ部4は、図示省略のリクライニング装置により座部3の後端側を支点としてリクライニング可能に構成されている。

【0008】背凭れ部4の前方中部に、この間の

が昇降自在に内蔵されている。マッサージ器8は、複数の施療子(揉み玉、マッサージ用のローラ)9を備え、マッサージ用モータの回転動力を施療子9に伝達して該各施療子9に揉み動作や叩き動作をさせるように構成されている。また、マッサージ器8は、昇降手段により背凭れ部4内を上下移動(昇降)可能に構成されている。前記座部3には、前後に複数の袋状のエアセル13, 14が設けられている。各エアセル13, 14は、袋状に形成されて座部3内に組み込まれ、空気を供排することにより空気圧によって膨張収縮動作するように構成され、後側のエアセル13は使用者の尻を押圧によるマッサージをし、前側のエアセル14は、使用者の太ももを押圧によるマッサージをするようになっている。

【0009】図1及び図2において、前記足支持部材5は、底壁部17と、底壁部17の左右両側から前方突出した左右一对の側壁部18と、該一对の側壁部18間に位置するように底壁部17の左右中央側から突出した中央壁部19とを有し、前記左右一对の側壁部18と中央壁部19との間が、足の片方をそれぞれ嵌合保持する一对の足保持溝20とされている。足支持部材5の各足保持溝20における後、左、右の各内壁面に、エアセル23, 24が、足保持溝20の溝方向の一端側と他端側とに分けて6個ずつ設けられている。6個のエアセル23によって足のふくらはぎをマッサージする左右一对のマッサージ具25が構成され、6個のエアセル24によって足首をマッサージする左右一对のマッサージ具26が構成されている。従って、エアセル23, 24は、合計で12個あって、左右一对の側壁部18の内面側に2個ずつの計4個組み込まれ、中央壁部19の両側面側に4個組み込まれ、底壁部17の前面側に4個組み込まれている。

【0010】各エアセル23, 24は、袋状に形成されて、空気を供排することにより空気圧によって膨張収縮動作するように構成され、座部3側(上側)のエアセル23は足保持溝20に嵌合保持された足のふくらはぎを挟持状に押圧してマッサージをし、座部3とは反対側(下側)のエアセル24は、足保持溝20に嵌合保持された足の足首を挟持状に押圧してマッサージをするようになっている。なお、前記エアセル13, 14, 23, 24の膨張・収縮は、座部3の下方等に配置したコンプレッサからの給排気により行われ、コンプレッサからの給気・排気の切り替えは図示省略の制御部により制御されるバルブ等によって夫々別個に行われるように構成されている。

【0011】前記足支持部材5の底壁部17と中央壁部19とは一体に形成されている。左右一对の側壁部18は底壁部17とは別体に形成されて、底壁部17の左右及び外端面30に固着したブラケット27を介して縦方向の支持軸28まわりに回動自在に取付られ、これにより

に構成され、左右一对の側壁部18は、左右方向内方に折り畳まれる折畳姿勢と、中央壁部19との間で一对の足保持溝20を形成するように底壁部17から突出する使用姿勢とに変更可能になるように、左右一对の側壁部18が底壁部17に対して矢印a及び矢印b方向に回動自在に支持されている。

【0012】側壁部18の側端面29が底壁部17の外端面30にブラケット27を介して接当することによって、側壁部18の矢印a方向の回動が、使用姿勢で規制され、側壁部18の先端が中央壁部19の側面に接当することによって、側壁部18の矢印b方向の回動が、折畳姿勢で規制されるようになっている。また、前記左右一对の側壁部18を折畳姿勢にしたとき、各側壁部18が一对の足保持溝20側に倒れて足支持部材5がコンパクトになると共に、左右一对の側壁部18が折畳姿勢にあるとき、エアセル23, 24を膨張させることによって、左右一对の側壁部18を、折畳姿勢から使用姿勢に自動的に展開することができるようになっている。

【0013】図4は他の実施の形態を示し、左右一对の側壁部18を折畳姿勢と使用姿勢とに移動させる駆動手段として、左右一对のアクチュエータ33を設けている。このアクチュエータ33は例えば足支持部材5の下方に配置されている。各アクチュエータ33は空気又はガス等の給排によって伸縮動作し、一对のアクチュエータ33の外端部はブラケット34を介して側壁部18の内端部に連結され、一对のアクチュエータ33の内端部同士は互いに支持軸35まわりに回動自在に連結されており、一对のアクチュエータ33の伸長動作により、左右一对の側壁部18を使用姿勢から折畳姿勢に移動(回動)させ、また一对のアクチュエータ33の縮小動作によって、左右一对の側壁部18を折畳姿勢から使用姿勢に自動的に移動(回動)させるようになっている。その他の点は前記実施の形態の場合と同様の構成であり、図示省略しているが、前記実施の形態の場合と同様に、足支持部材5が椅子型のマッサージ機の座部3の前部下方に設けられ、足支持部材5の各足保持溝20における後、左、右の各内壁面に、エアセル23, 24が、足保持溝20の溝方向の一端側と他端側とに分けて6個ずつ設けられている。従って、前記実施の形態の場合と同様に、左右一对の側壁部18が折畳姿勢にあるとき、エアセル23, 24を膨張させることによって、左右一对の側壁部18を、折畳姿勢から使用姿勢に自動的に展開することもできる。

【0014】なお、前記実施の形態では、一对のアクチュエータ18の伸縮動作によって、左右一对の側壁部18を使用姿勢から折畳姿勢に移動(回動)させると共に、折畳姿勢から使用姿勢に移動(回動)させるようにしているが、これに代え、一对のアクチュエータ18の伸長動作によって、左右一对の側壁部18を使用姿勢か

3, 24の膨張させることによって、左右一對の側壁部18を、折畳姿勢から使用姿勢に展開するようにしてもよい。

【0015】また、一對のアクチュエータ18を空氣の給排により伸縮動作させるようにし、前記エアセル13, 14, 23, 24に空氣を給排するコンプレッサーを、一對のアクチュエータ18への空氣の給排に兼用するようにしてもよい。図5及び図6は他の実施の形態を示し、前記実施の形態の場合に比べて、中央壁部19の底壁部17からの突出長さを短く形成すると共に、左右一對の側壁部18の外側部をやや外側方に膨出させて、左右一對の側壁部18を折畳姿勢にしたとき、図6に示す如く中央壁部19及び左右一對の側壁部18の前面側が略面一になって、足支持部材5をよりコンパクトに折り畳むことができるようにしたものである。その他の点は前記実施の形態の場合と同様である。なお、この実施の形態の場合も、図4の実施の形態の場合と同様に、左右一對の側壁部18を折畳姿勢と使用姿勢とに移動させる駆動手段として、左右一對のアクチュエータ33を設けるようにしてもよい。

【0016】なお、前記実施の形態では、左右一對の側壁部18を折畳姿勢と使用姿勢とに移動させる駆動手段として、左右一對のアクチュエータ33を設けているが、左右一對のアクチュエータ33に代えて、1個のアクチュエータ33で左右一對の側壁部18を折畳姿勢と使用姿勢とに移動させるようにしてもよいし、またアクチュエータ33に代えて、モータその他の駆動手段を設けるようにしてもよい。また、前記実施の形態では、本願発明を、椅子型のマッサージ機に適用実施しているが、本願発明が適用されるマッサージ機は、椅子型のマ

ッサージ機に限定されず、足支持部材5を備えるマッサージ機であれば、ベッド式その他のマッサージ機にも適用実施することが可能である。

【0017】

【発明の効果】本発明によれば、左右一對の側壁部18を左右方向内方に折り畳むことにより、足支持部材5をコンパクトに折り畳むことができ、収納や運搬の際や不使用の際等に嵩張らないようになり、非常に便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示す足支持部材の平面図である。

【図2】同足支持部材を折り畳み状態にした平面図である。

【図3】同マッサージ機の全体斜視図である。

【図4】他の実施の形態を示す足支持部材の平面図である。

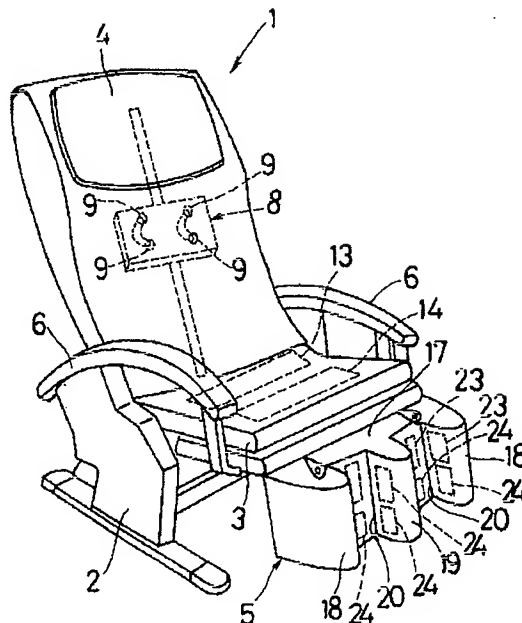
【図5】他の実施の形態を示す展開状態の足支持部材の平面図である。

【図6】同折り畳み状態の足支持部材の平面図である。

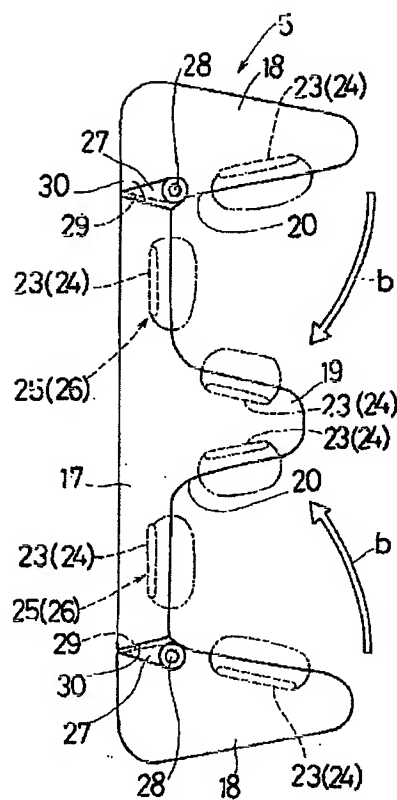
【符号の説明】

- 1 マッサージ機
- 5 足支持部材
- 17 底壁部
- 18 側壁部
- 19 中央壁部
- 20 足保持溝
- 23 エアセル
- 24 エアセル

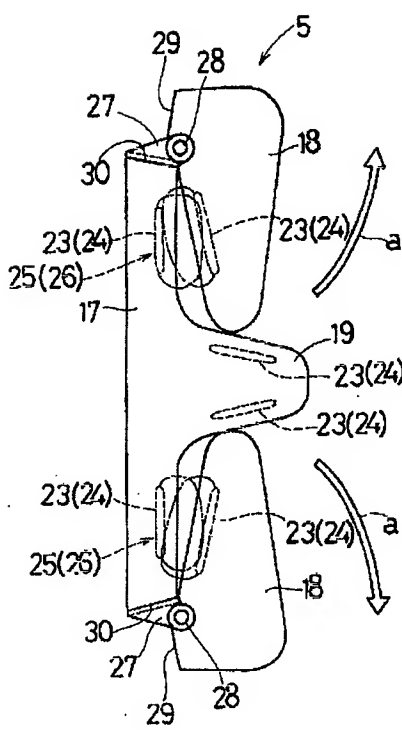
【図3】



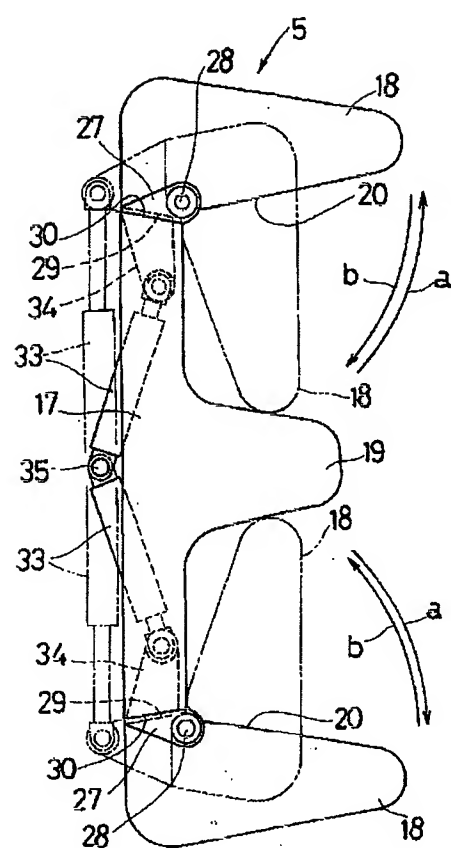
【図1】



【図2】



【図4】



【図6】

【図5】

